



芝山小だより



1月号
清瀬市立芝山小学校
校長 寺井 俊敬
<http://www.kiyose.ed.jp/>

目標をもって過ごすこと、そのための準備が大切であること

校長 寺井 俊敬

新春のお慶びを申し上げます。本年もよろしくお願いいたします。

令和7年、2025年が始まりました。2024年は能登半島地震に始まり、多くの自然災害に見舞われる等様々な出来事がありました。また、パリで行われたオリンピックやパラリンピックで活躍した選手から多くの夢や希望をいただきました。今年はどのような年になるでしょうか。

2025年は、十干十二支(じっかんじゅうにし)では、乙巳(きのとみ)です。ある記事によると、『乙には、草木がしなやかに伸びる様子や横へと広がっていく意味を持ちます。また、巳には、神様の使いとして大切にされてきた動物で、脱皮を繰り返すことから不老不死のシンボルとされています。そのため、再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく年と考えられます。』とあります。世界では今も戦争が行われていますが、戦争のない平和な世界になってほしいと思います。一方、日本では、大阪・関西万博が予定されています。皆で支え合いながら、様々な未来志向の新しい技術が生まれ、次へと向かっていく年となることを願ってやみません。

ところで、昨年パリオリンピック、柔道競技女子48kg以下級で金メダルに輝いた角田夏実選手の講演会を聞く機会がありました。角田選手は、パリ大会の前、東京オリンピック出場を目指していましたが、残念ながら、代表選考で選ばれませんでした。角田選手は悩んだ末に、階級を下げてパリオリンピックを目指すことにいたしました。怪我をしたり、試合で勝てなかったり、多くの挫折を味わっていたそうです。それでも、「パリオリンピックに出場したい」という目標を持ち続けました。1つ1つの大会で勝つために大切なことは『準備力』です、と話されていました。1つ1つの大会で、しっかりと準備をして、パリオリンピックの前の世界選手権3連覇を果たし、見事に代表選考に選ばれました。選ばれたからには次の目標は金メダル獲得です。世界選手権3連覇の選手ですから、世界中から研究されます。角田選手は、それを上回る準備、研究をしたそうです。角田選手と同じように目標を立て、同じように実行していくことは並大抵の努力ではできません。しかし、少し頑張ればできそうな目標を立て、実行していくことはできるかもしれません。

学校にとっては、本日がスタートです。運動会や音楽会、日常の学習に生活に頑張った子供たちです。1年のスタート、子供たちには、「これはできるようになるまで頑張る」「これは最後までやり切る」といった目標について、ぜひ考えてほしいと思います。そして、目標達成のために、何が必要かを考え、準備を整えて日々過ごしていきたいと思います。ぜひご家庭で、子供たちの興味・関心があること、頑張りたいことについて話し合ってもらいたいと思います。そして、応援してほしいと思います。

子供たちが、「日々の生活、学習、行事を通して、少しずつ成長していく」、そんな1年にしたいと思います。

本日、始業式で子供たちに、『目標をもって過ごすこと、そのための準備が大切であること』について話をしました。そして、いじめは許さないこと、また、困ったときには、近くの大人の人に相談することを話しました。今年も、保護者の皆様、地域の皆様の教育活動へのご理解とご協力を、どうぞよろしくお願い申し上げます。(学校ホームページ「令和6年度校長室より」は、本日より再開いたしました。ぜひご覧ください。)